

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2025年11月6日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東
 コード番号 6417 URL <https://www.sankyo-fever.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 敏男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 赤石 昌大 TEL 03-5778-7777(代)
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	100,409	10.7	39,038	7.6	39,949	8.7	28,773	9.7
2025年3月期中間期	90,729	△21.9	36,288	△20.2	36,740	△19.9	26,235	△20.0

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 29,446百万円(14.4%) 2025年3月期中間期 25,734百万円(△21.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	135.62	133.89
2025年3月期中間期	119.54	117.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	298,683	256,032	85.2
2025年3月期	336,709	285,004	84.2

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 254,554百万円 2025年3月期 283,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	40.00	—	60.00	100.00
2026年3月期	—	45.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	△3.6	63,000	△14.4	64,000	△14.2	44,000	△18.5	214.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	260,000,000株	2025年3月期	260,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	56,939,471株	2025年3月期	40,391,071株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	212,155,796株	2025年3月期中間期	219,474,433株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式(2026年3月期中間期 1,247,500株、2025年3月期 1,320,000株)が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式(2026年3月期中間期 1,283,154株、2025年3月期中間期 1,334,754株)が含まれております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

パチンコ市場におきましては、新たなゲーム性である「ラッキートリガー3.0プラス」搭載機種を導入を契機に、スマートパチンコ機の普及が進展するとともに、好調な稼働を見せる機種が登場しており、市場の活性化に向け明るい兆しが見え始めております。一方、パチスロ市場におきましては、パチスロの新たなジャンルとして登場した「ボーナストリガー」機が複数導入され、パチスロの機種バラエティの充実が進むことで、堅調な市場を一層強固なものとするのが期待されております。

このような状況の中、当社グループでは、パチンコ機関連事業におきましては、人気アニメ作品「東京喰種」や「ブルーロック」などと新規タイアップした商品を積極的に投入いたしました。これら機種の中でも、4月に投入した「e 東京喰種」は、市場全体の稼働を牽引するヒット機種となっており、複数回にわたり増産対応を行っております。加えて、「ラッキートリガー3.0プラス」を搭載した「e フィーバー炎炎ノ消防隊2」を業界第一弾で投入するなど、充実したラインナップにより、順調に販売台数を積み上げることができました。一方、パチスロ機関連事業におきましては、当社として初の「ボーナストリガー」機となる「LBパチスロ エヴァンゲリオン ～約束の扉～」を含む新規2タイトルの販売に加え、前期以前に販売し、好調な稼働を維持する2タイトルの増産対応も行いました。

以上の結果、売上高1,004億円（前年同期比10.7%増）、営業利益390億円（同7.6%増）、経常利益399億円（同8.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益287億円（同9.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高748億円（前年同期比97.1%増）、営業利益353億円（同122.9%増）、販売台数160千台（前年同期は83千台）となりました。

主な販売タイトルは、SANKYOブランドの「e フィーバー炎炎ノ消防隊2」（2025年7月）、「e フィーバーブルーロック」（2025年9月）、B i s t yブランドの「e 東京喰種」（2025年4月）であります。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、売上高173億円（前年同期比55.8%減）、営業利益67億円（同71.0%減）、販売台数40千台（前年同期は80千台）となりました。

新規販売タイトルは、B i s t yブランドの「LBパチスロ 機動戦士ガンダムSEED」（2025年5月）、「LBパチスロ エヴァンゲリオン ～約束の扉～」(2025年7月)の2タイトルであります。長期稼働中であるSANKYOブランドの「パチスロ からくりサーカス」、「LBパチスロ かぐや様は告らせたい」の増産を行いました。

(補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高80億円（前年同期比39.6%減）、営業利益6億円（同42.4%減）となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高1億円（前年同期比26.0%減）、営業利益83百万円（同0.9%減）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は2,986億円であり、前連結会計年度末と比べ380億円減少しました。これは主に、有形固定資産が136億円、受取手形、売掛金及び契約資産が103億円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が548億円、有償支給未収入金（流動資産「その他」に含む）が39億円、商品及び製品が31億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は426億円であり、前連結会計年度末と比べ90億円減少しました。これは主に、未払法人税等が48億円、支払手形及び買掛金が36億円、有償支給取引に係る負債（流動負債「その他」に含む）が7億円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ289億円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益287億円を計上した一方、自己株式の取得452億円、配当金の支払い132億円を計上したことによるものであります。この結果、純資産は2,560億円となり、自己資本比率は1.0ポイント増加し、85.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	180,064	125,206
受取手形、売掛金及び契約資産	15,993	26,312
電子記録債権	6,400	5,950
有価証券	59,985	59,984
商品及び製品	3,441	298
仕掛品	133	471
原材料及び貯蔵品	15,934	15,063
その他	12,601	9,353
貸倒引当金	△13	△2
流動資産合計	294,541	242,638
固定資産		
有形固定資産	27,482	41,131
無形固定資産		
その他	327	289
無形固定資産合計	327	289
投資その他の資産		
投資有価証券	5,349	6,321
その他	9,029	8,323
貸倒引当金	△22	△19
投資その他の資産合計	14,357	14,624
固定資産合計	42,167	56,045
資産合計	336,709	298,683
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,623	8,927
未払法人税等	16,769	11,874
賞与引当金	870	879
株主優待引当金	154	154
その他	11,442	10,974
流動負債合計	41,860	32,809
固定負債		
株式給付引当金	933	850
退職給付に係る負債	5,254	5,286
資産除去債務	76	63
その他	3,580	3,641
固定負債合計	9,844	9,841
負債合計	51,704	42,650

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	290,721	306,054
自己株式	△48,375	△93,240
株主資本合計	280,936	251,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,524	3,190
退職給付に係る調整累計額	△46	△39
その他の包括利益累計額合計	2,478	3,151
新株予約権	1,590	1,478
純資産合計	285,004	256,032
負債純資産合計	336,709	298,683

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	90,729	100,409
売上原価	36,516	40,871
売上総利益	54,212	59,537
販売費及び一般管理費	17,924	20,499
営業利益	36,288	39,038
営業外収益		
受取利息	50	265
受取配当金	208	337
その他	198	313
営業外収益合計	457	916
営業外費用		
投資事業組合運用損	0	2
その他	4	2
営業外費用合計	4	4
経常利益	36,740	39,949
特別損失		
固定資産廃棄損	1	-
減損損失	113	-
特別損失合計	114	-
税金等調整前中間純利益	36,626	39,949
法人税、住民税及び事業税	11,054	11,312
法人税等調整額	△663	△135
法人税等合計	10,391	11,176
中間純利益	26,235	28,773
親会社株主に帰属する中間純利益	26,235	28,773

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	26,235	28,773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△507	665
退職給付に係る調整額	6	7
その他の包括利益合計	△501	672
中間包括利益	25,734	29,446
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	25,734	29,446
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	36,626	39,949
減価償却費	1,074	1,225
減損損失	113	-
引当金の増減額 (△は減少)	△43	△87
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△25	42
受取利息及び受取配当金	△258	△602
売上債権の増減額 (△は増加)	1,360	△9,869
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,065	3,675
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,601	△3,695
その他	△8,308	2,700
小計	33,074	33,338
利息及び配当金の受取額	233	529
法人税等の支払額	△9,683	△15,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,624	17,887
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,158	△14,884
貸付金の回収による収入	2	22
その他	0	519
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,155	△14,342
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△45,245
自己株式の売却による収入	25	95
配当金の支払額	△11,034	△13,255
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,009	△58,405
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,459	△54,859
現金及び現金同等物の期首残高	205,440	240,050
現金及び現金同等物の中間期末残高	215,900	185,190

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式16,831,200株を取得しております。

この結果、当中間連結会計期間において自己株式が45,244百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が93,240百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,981	39,200	13,285	90,467	261	90,729	—	90,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	37,981	39,200	13,285	90,467	261	90,729	—	90,729
セグメント利益	15,841	23,272	1,074	40,187	84	40,272	△3,984	36,288

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	74,853	17,334	8,026	100,215	193	100,409	—	100,409
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	74,853	17,334	8,026	100,215	193	100,409	—	100,409
セグメント利益	35,311	6,740	618	42,670	83	42,754	△3,716	39,038

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。